

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスひかり			公表日		令和8年2月26日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			2
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	国の基準を十分に満たしています。	送迎業務時は、ゆとりがないように感じます。男性職員が必要な場面が増えてきているように思います。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	施設内はバリアフリー化されています。また、障害の特性に応じて個別に視覚的支援ツールなども使用しています。	支援級の子どもの多い時は、学習するための環境、トイレなどの改善が必要になると思われます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	利用人数や障害の特性に応じて配置を変えたりしています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	必要に応じて別室で学習、訓練、クールダウン等を行っています。活動に応じた部屋が用意されています。	個別指導を必要とする児童が重なった時は、スペースが足りていないように思います。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	振り返りの時間を設けて、指導の統一を図っています。また、記録したものを共有できるようにしています。勤務時間が違う職員は、記録したものを見てもらい、不明な点は確認するようにしています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ご意見があれば、その都度改善できるように職員間で話し合いをしています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員からの意見や提案があれば、その都度職員間で話し合い、業務改善に繋げています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0		今年度より、当法人の評議委員会の時に第三者評価を受けることになっています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	定期的に研修会に参加しています。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		支援プログラムを作成し、公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	アセスメントを行い、子どもや保護者のニーズをくみ取り、計画を作成しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員間で、一人ひとりの発達状況に合わせた目標やニーズを確認しながら計画を作成しています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	放課後等デイサービス計画を職員間で共有し、一人ひとりの計画に沿った支援が行われているか振り返りを行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	必要に応じて、標準化されたツールを用いたり、日々の行動観察を通して、職員間で子どもの適応行動の状況を確認しています。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に基づいた目標を設定し、お子さんのニーズや発達状況に合わせた、具体的な支援内容を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	スタッフ全員でねらい・内容等を話し合い、月案、日案プログラムの立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	運動、製作、季節に応じた活動等や新しい活動を取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	一人ひとりの目標やニーズに沿った計画を作成して、子どもの状況に応じた支援や課題の提供を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	事前に職員間で必ず打ち合わせをして、その日の担当児や役割分担等を決めたり活動内容や子どもたちへの支援内容等の共通理解を図るようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	日々、職員間で振り返りを行った物を記録し、全職員で共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	活動記録表に日々の支援や今後の目標を記録して、支援の検証、改善に繋げていくように努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	前期と後期（半年に一度）、モニタリングを行い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	ガイドラインの基本活動を組み合わせて、活動計画を立て支援しています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	日々の活動の中で一人ひとりのお子さんが自己選択できるように、視覚的支援ツールの使用や、選択肢の提示方法を工夫し、自己決定できるようにしています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者や児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	相談支援専門員を通して各関係機関と連携できる体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校からの引継ぎの際、その日の心身の状態等についても細かな聞き取りをしています。お子さんの下校時刻については、保護者の方からの連絡により調整を適切に行っています。年間計画・行事予定等の交換は行いませんが、学校のホームページより、確認しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	利用にあたって恵光学園の職員や相談支援専門員と情報共有し、相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	対象が小学校6年生までのため、障害福祉サービス事業所等への移行するケースが現在はありません。	必要があれば情報提供に努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	恵光学園と連携を図っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	学童施設SAKURAに併設されている桜谷キッズクラブの利用児と定期的に季節の行事等と一緒に活動したり、少人数での交流も行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	管理者が参画しています。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	家庭や事業所でのお子さんの様子を伝え合い、個々の相談に応じ共通理解を図っています。今後も、保護者と信頼関係を築いていきたいと思っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	研修会があれば保護者の方に案内しています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明を丁寧に行うように心掛けています。また、ご利用開始後も必要に応じ、説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	アセスメントやモニタリングを行い、こどもや保護者の意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	放課後等デイサービス計画を示しながら、説明し、署名していただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	家庭からの相談に対し、必要に応じて面談を行い、お子さんへの関わり方を保護者の方に伝えています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6	父母の会や保護者会はありません。きょうだい児支援等の交流する機会があれば、対象の方にお知らせしています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情や相談等があった場合は、管理者や職員全員で話し合い、情報共有を図り、迅速な対応に努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月、活動内容などを「ひかり通信」として発行しています。	HPやSNS等の活用はしていませんが、様々な情報をこどもや保護者に対して発信するように努めています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	契約時に確認させていただいています。個人情報のある書類は、鍵付きの書類棚やPCのサーバーに保管し情報は外部に持ち出さないように十分注意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	一人ひとりの発達段階や特性に合わせ、視覚的支援ツールの使用や、分かりやすい言葉を用いて伝えています。保護者の方には、連絡帳や送迎時にお子さんの様子を伝え、質問や相談がしやすい雰囲気づくりに努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		現在は行っておりませんが、今後検討していきたいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルを作成し、職員・保護者には、訓練の有無や避難場所をお伝えしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCP計画を作成し、定期的に必要な訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	事前に保護者の方に確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	事前に保護者の方に確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、必要な研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に説明し、玄関に掲示してあります。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットを職員間で共有し、再発防止に向けた環境設定の見直しや工夫を行っています。		

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止マニュアルを作成し、職員間で周知し、定期的に研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	保護者に事前に説明し、同意書に署名をもらっています。また、放課後等デイサービス計画にも記載しています。	